

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2025/12/31 (前年末)	2026/9/30 (前月末)	2026/10/23 (前週末)	過去3年高値		過去3年安値	
日経平均	円	50,339.48	66,753.72	62,693.16	水準	日付	水準	日付
NYダウ	ドル	48,063.29	50,906.05	52,215.16	72,831.73	2026/6/22	30,538.29	2023/10/30
円/ドル	円	156.71	157.41	156.87	54,744.33	2026/8/5	32,327.20	2023/10/27
					163.99	2026/7/23	139.58	2024/9/16

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ AI投資の持続性への懸念の高まりなどから、下落 ~

先週の日本株市場は、日経平均が▲2,631.13円(▲4.03%)、TOPIXが▲100.19ポイント(▲2.46%)となりました。AI投資の持続性への懸念の高まりなどから、下落しました。業種別では、鉱業、不動産業、医薬品など15業種が上昇した一方、非鉄金属、銀行業、ガラス・土製品など18業種が下落しました。

19日は、AI投資を巡る警戒感がAI・半導体関連銘柄の重荷となった一方、商社株などに物色が広がり、相場を下支えたことから、ほぼ横ばいで推移しました。20日は、AI投資の持続性への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。21日は、前日に発表された米スペースX社の決算を受けて米国株式市場が上昇した流れを引き継ぎ、反発しました。22日は、前日の米半導体関連企業ラムリサーチ社の決算発表で、投資家の高い期待に対して今後の売上高見通しが市場予想並みにとどまったことや、ウェブ開発などに用いられるプログラミング言語「PHP」で深刻な脆弱性が見つかったことなどが重荷となり、反落しました。23日は、前日に大手ハイパースケーラーであるメタ・プラットフォームズ社が発表した決算で、フリーキャッシュフローがマイナスに転じたことなどから、AI投資に伴う財務面への懸念が高まり、続落しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
10月26日	Mon	ドイツ	IFO企業景況感指数	10月	89.9
		中国	工業利益(前年比)	9月	+4.2%
			耐久財受注(前月比)	9月	▲0.1%
10月27日	Tue	米国	消費者信頼感指数	10月	81.9
			新築住宅販売件数	9月	+68.4万件
10月28日	Wed	欧州	FOMC(米連邦公開市場委員会)(28日まで)		
		日本	ECB(欧州中央銀行)金融政策会合(29日まで)		
10月29日	Thu	米国	日銀金融政策決定会合(30日まで)		
			GDP(国内総生産)速報値(前期比年率)	7-9月期	+2.2%
			PCE(個人消費支出)価格指数(前年比)	9月	+3.4%
			失業率	9月	+2.5%
10月30日	Fri	日本	東京都都区部CPI(消費者物価指数)(除生鮮食品/前年比)	10月	+2.9%
			鉱工業生産(前月比)	9月	▲2.4%
		欧州	失業率	9月	6.4%
			GDP速報値(前期比)	7-9月期	+0.6%

決算発表予定 他	国内	決算発表	10/26 キヤノン 10/27 信越化学、キヤノン、カブコン、シマノ、中外製薬 10/28 ヒューリック、日立、JR東海、野村HD、アドバンテスト 10/29 テンソー、コナミG、ANAホールディングス、キーエンス、東電HD 10/30 大和証券G、村田製作所、東京エレクトロ、JR東日本、キオクシアHD
決算発表予定 他	海外	決算発表	10/26 ベライゾン 10/27 ノバルティス、ボーイング、コカ・コーラ、ロビンフッド・マーケティング、ヒサザ 10/28 スタンダード・チャータード、アルファベット、メルセデス・ベンツグループ、SKハイニックス、マイクロソフト 10/29 STマイクロエレクトロニクス、サムスン電子、サンディスク、アマゾン、インテル 10/30 クレディ・アグリコル、アストラゼネカ、シェフロン、セネラル・ダイナミクス、エクソン・モービル・ホールディングス

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ AI投資への懸念と原油高が重荷となるも、
良好な企業決算を背景に底堅く推移 ~

今週の日本株市場は、AI投資への懸念と原油高が重荷となるも、良好な企業決算を背景に底堅く推移するとみえます。足元では、親イラン武装組織フーシ派によるサウジアラビアに対する攻撃の激化や、米国中間選挙後に米国とイスラエルがイランへの大規模攻撃を計画しているとの報道などを背景に、原油価格は高騰しています。また、引き続きAI投資に対する不透明感が高まっていることも、株価の重荷となっています。かかる環境で、今週は米ハイパースケーラー2社(アルファベット、アマゾン)による2026年7-9月期決算発表が予定されています。米国企業決算は、半導体関連企業を中心に、前年比2桁の増益を維持しています。決算発表を通じて、AI・半導体関連の需給動向や資金調達状況などが明らかになれば、AI投資に対する過度な警戒感は後退するとみえています。また、今週はFOMCと日銀金融政策決定会合が予定されており、両会合ともに政策金利を据え置くとみえています。ただし、ウォッシュFRB(米連邦準備理事会)議長と植田日銀総裁が、会合後の記者会見でこれまでの利上げの効果について言及すれば、さらなる利上げへの過度な警戒感が後退し、市場の不透明感の緩和につながるとみえています。その他の注目材料として、日本では30日の東京都都区部CPI、米国では29日のGDP速報値とPCE価格指数、ドイツでは26日のIFO企業景況感指数、ユーロ圏では28日のECB金融政策会合、30日のGDP速報値などが挙げられます。

ALAMCO

※ 朝日ライフ アセットマネジメント

URL: <https://www.alamco.co.jp>商号等 : 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会 : 一般社団法人資産運用業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。